



秋田県男鹿市、潟上市及び秋田市沖 洋上風力発電事業 概要説明

2026年2月25日（水）

男鹿・潟上・秋田Offshore Green Energy合同会社



目次

- 事業概要
- 漁業・地域共生策検討、実施状況
- 洋上・陸上設備関連工事スケジュール、実施状況
- 漁業影響調査検討状況
- 協議会意見とりまとめにおける留意事項への対応状況・方針
(全体理念、風車等配置、共生策、漁業影響調査以外)

事業概要



当事業会社の構成企業

エネルギーを新しい時代へ



運転中・開発中の総持
分容量13GW規模の
洋上風力専門会社。

台湾・欧州等洋上風力
の豊富な経験



男鹿・潟上・秋田
Offshore Green Energy 合同会社



発電事業70年の歴史。
国内港湾洋上風力・
県内陸上風力含む
100か所の発電所運営



三方よしの企業理念を
掲げる国内大手商社。

全国トップの長期再エネ販
売・アグリゲーション実績



東北最大の電力会社。
長年にわたり
電力事業を展開

事業概要

事業運営方針



電気をつくる

国内港湾・台湾の洋上事業を通じ、日本の気象・海象を熟知する企業と人財で、国内最初の運転開始*を実現
*再エネ海域利用法に基づく着床式洋上風力発電事業が対象



産業をつくる

県内雇用率86%の国内No1の洋上O&M会社を設立、アジアまで事業を拡大し、国内メンテナンス産業の基盤を構築



恵みをもたらす

伊藤忠商事の商売インフラを活用し、県内企業と共同拡販を行うことで秋田商人を育み、自ら稼ぐ農林水産業を実現



全国に広げる

国内サプライヤー育成や蓄電池等のカーボンニュートラル*産業の育成に取組み、国内洋上風力産業の発展に貢献
*以下、CNという

事業計画概要

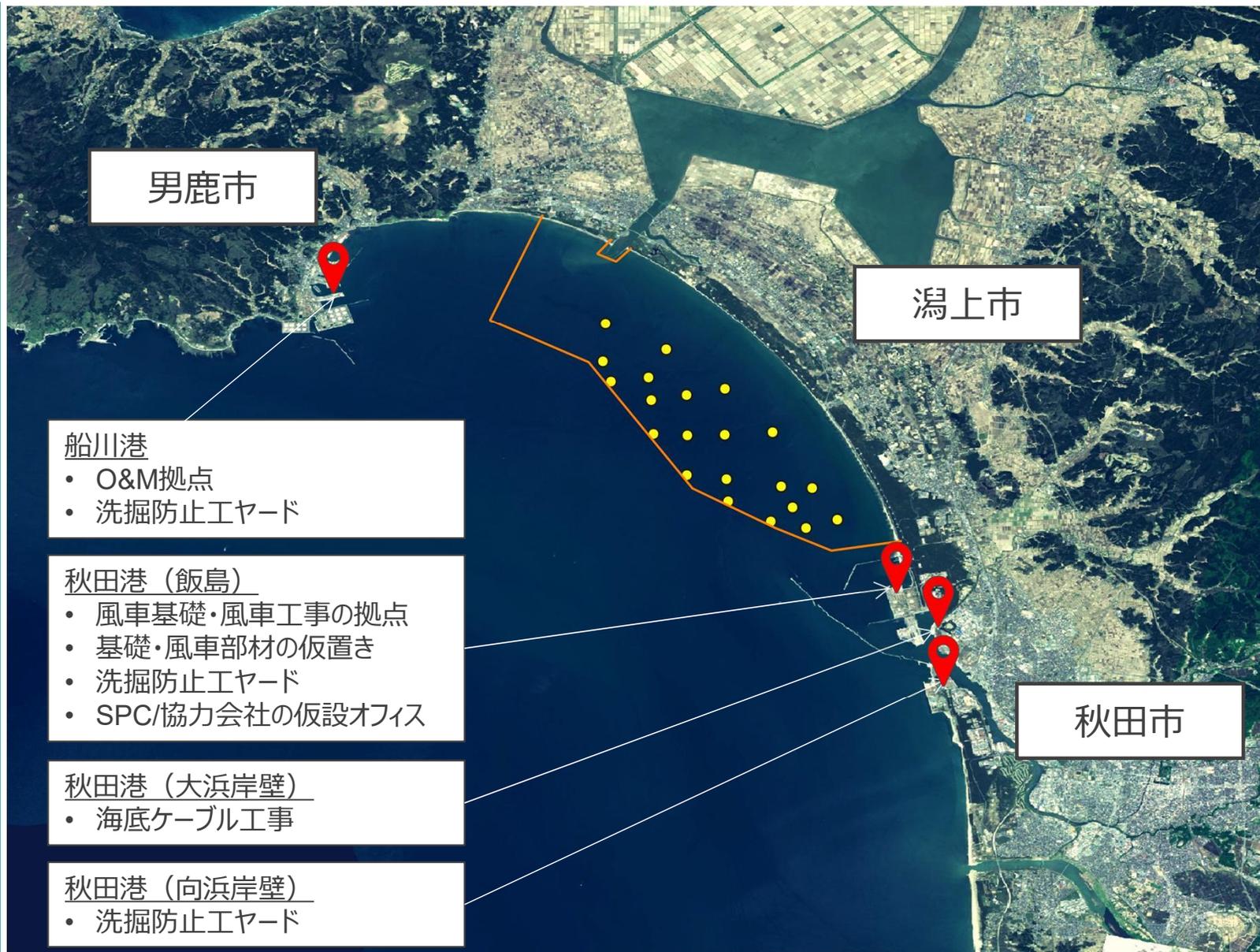
出力	315MW
基数	21基
風車機種	V236-15MW (Vestas製)
運転開始	2028年6月30日

基地港湾	秋田港
利用期間	2025年4月~2028年2月 (建設) 及び撤去時
O&M拠点港	船川港
利用期間	2025年1月~ (O&M)

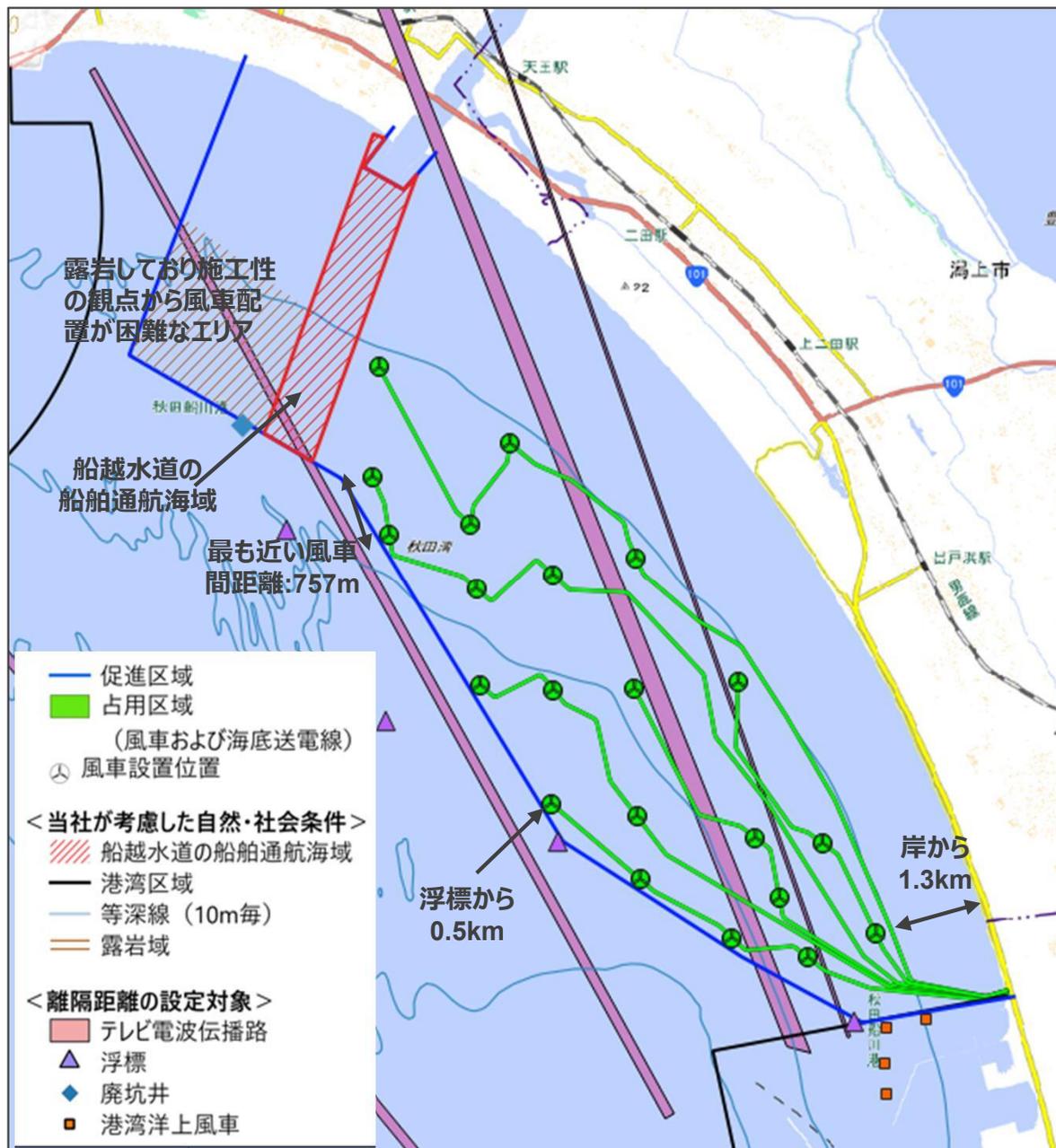
事業実施区域



事業実施区域



風車等配置及び配慮事項



漁業

- 関係漁業者の皆様と協議し、風車、ケーブルの配置は合意済みであるが、今後も丁寧な対話を継続
- 漁業影響調査を通じ客観的、科学的に影響を把握

既存海洋構造物

- 浮標、廃坑井、港湾洋上風車等の既存海洋構造物からは十分に離隔
- 小型定置網に関しては、関係漁業者の皆様との丁寧な協議の上必要な離隔を決定し、同意済み

船舶の航行の安全

- 航行安全委員会を開催し、航行安全上の重要な問題がないことを確認済み
- GPSプロッター設置による漁船衝突防止策を実施

レーダー、電波受信環境等

- 各種レーダー、電波等への影響については、机上検討及び各所と協議のうえ影響のないよう対応予定

事業実施体制



洋上風力



地域創生



秋田

のエキスパートで体制を構築し、30年の事業を安全・確実に実施

洋上風力事業および地域創生の実績豊富な構成員に加え、

国内・県内洋上風力事業の経験豊富な協力企業で、万全の体制を構築



男鹿・潟上・秋田
Offshore Green Energy 合同会社



建設期間

風車供給・
施工

Vestas

基礎調達、
工事・SEP船

鹿島建設

陸上工事

東光電気工事
日立エナジー他

風車SEP船

五洋建設

ケーブル供給・施工

住友電工



運転期間

風車点検・修繕

Vestas / O&M子会社

BOP

J-Powerハイテック 等

CTV供給・運航管理

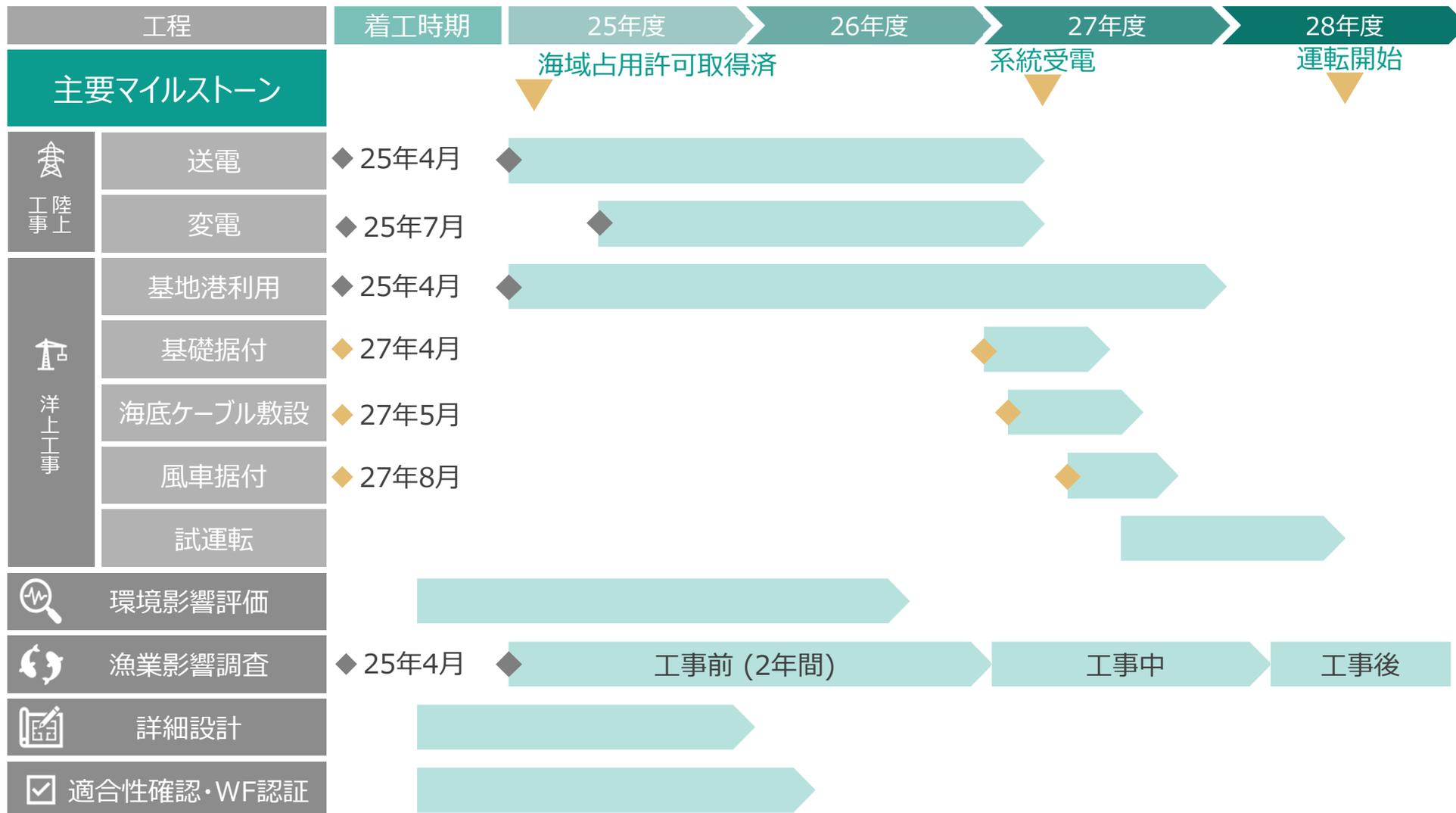
日本郵船JV

工事計画



- 2023年から各種調査及び詳細設計に着手済で、2028年6月の運転開始を確実に実現
- 2025年4月より基地港整備および陸上送電工事が着工。陸上変電工事も同年7月に着工。

- ◆ 工事開始予定
- ◆ 開始済



これまでの主要契約締結状況



- プロジェクト遂行上の主要契約につき、以下の通り締結済み。

タービン供給/運転・保守サービス保証契約
-ベスタス・ジャパン
(2024年12月)



基地港整備工事契
-大森建設、沢木組
(2025年4月)



埠頭賃貸借契約
(2025年5月)



国産CTV長期定期傭船契約
-日本郵船
(2025年10月)



出典：日本郵船HP
<https://www.nyk.com/news/2025/20251215.html>
※写真は契約対象の船と同一船型の別の船。

風車基礎据付工事契約
-鹿島建設
(2025年10月)



出典：JFEエンジニアリングHP https://www.jfe-eng.co.jp/news/2025/20251226.html?utm_source=chatgpt.com

O&M拠点建設契約
-沢木組
(2025年11月)



※船川港のO&M拠点の完成イメージ図。

漁業・地域共生策検討、実施状況



漁業・地域共生策検討状況



- ・ 2024年9月より地元関係者を一堂に会し、漁業・地域共生策に係る基金配分協議を開始。
- ・ 2026年11月末までに基金を初回出捐すべく、今後、基金配分協議を継続しつつ、漁業・地域共生策の実施内容を協議。
- ・ 一方、基金を使用しない漁業・地域共生策はすでに実施中。

- ・ 本事業は、男鹿市、潟上市および秋田市の「風」と「海」を使わせていただく事業との理解のもと、地域の皆さまへ一日も早く、かつ末永く還元させていただくべく、法定協議会をはじめとする地元関係者と連携しながら取組を行い、**漁業・地域と洋上風力の共存共栄**を必ず実現

人口減少
対策
への貢献

再エネ・洋上風力に係る教育を通じた人材育成、次世代を担う若者の新規就労を促進

- ・ 地元教育機関と連携したエネルギー人材育成（小中高大への出前授業等）、就労促進等に資する共生策を実施
- ・ 若者・子育て世帯の定住に資する地域雇用創出（O&M子会社設立など）

産業振興・
国内経済
活性化

洋上風力発電を起点とした産業基盤の構築

- ・ 地元企業の参入拡大：洋上関連工事および陸上変電工事マッチングフォーラムに参加し、地元企業の参画機会の拡大へ寄与
- ・ 県産品の販売拡大：秋田県庁および商工会、地元企業の協力のもと県産品販売促進活動の実施

地域共生
(漁業・地域)

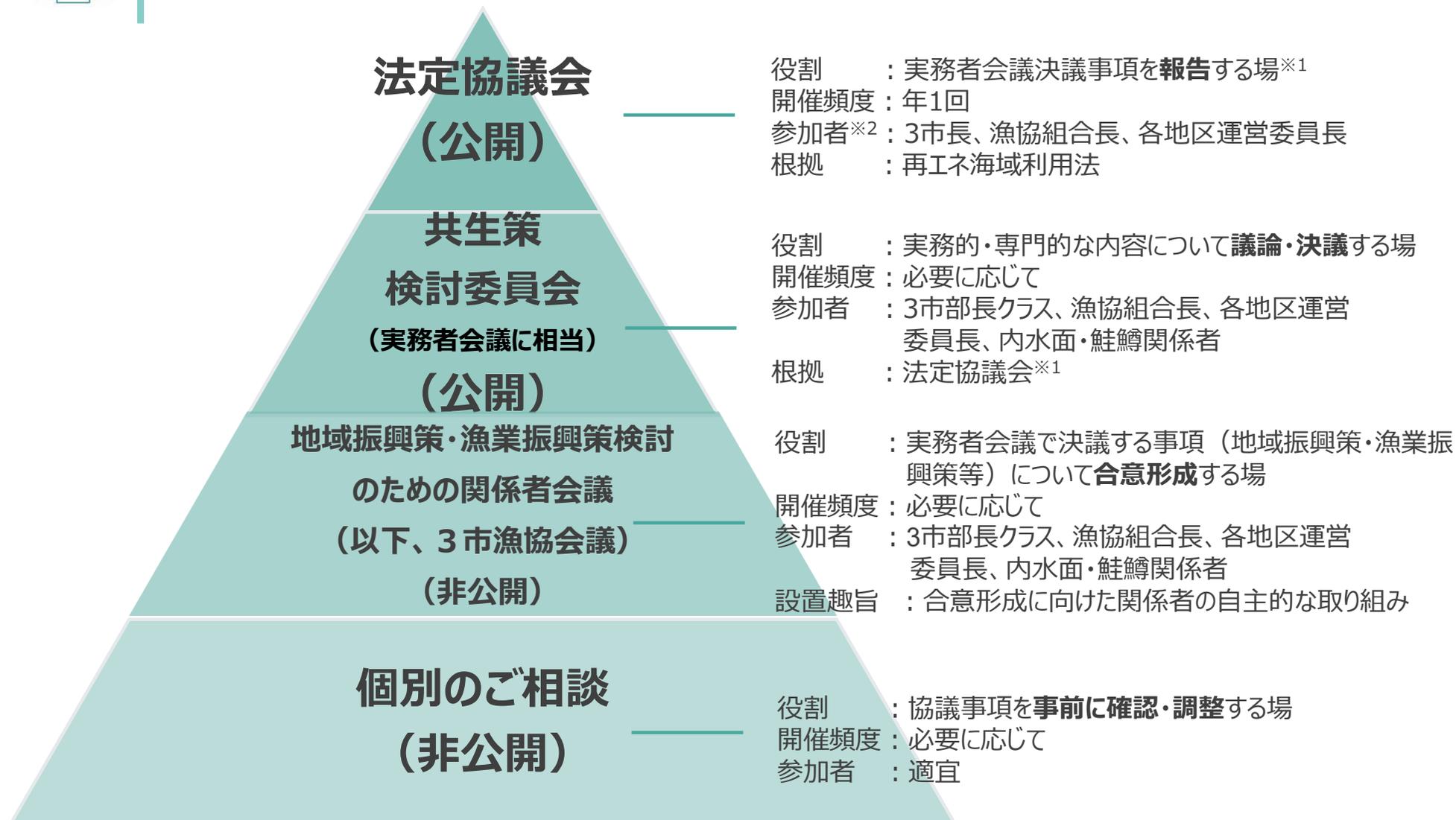
地元関係者への適切な各種説明会の実施による関係性構築、基金内外の共生策の実施

- ・ 基金配分協議：地元関係者との丁寧な対話および配分協議の実施
- ・ 漁業者との協調：漁業影響調査の実施、各種タイミングでの説明会の実施
- ・ 共生策の実施(基金外)：地元関係者との対話を重ね、ご要望に沿った共生策の実施

漁業・地域共生策検討状況



以下の会議体構成により、基金配分に関し検討を実施。



※1 第5回法定協議会において承認された「今後の協議会の進め方」に基づき、実務者会議以下を「議論」の場、法定協議会を「報告」の場と位置付け。

※2 行政・漁業関係者の参加者に限り記載。以下同様。

漁業・地域共生策検討状況



2026年2月6日開催の「共生策検討委員会」にて、以下の内容を決議済み。

決議事項	詳細
基金配分比率	3市漁協会議での協議の結果、 漁業振興策:地域振興策 = 7:3 に決定。
内水面、鮭鱒の扱い	漁業振興策分(全体の7割)の中から出捐。
基金出捐までの意思決定プロセス	2026年度に開催する共生策検討委員会において、初回出捐（2026.11末）によって各主体が実施する振興策を 決定 。 2026年度法定協議会では、各主体が実施する振興策を 報告 。

漁業・地域共生策検討状況



2026年2月6日開催の「共生策検討委員会」にて、今後の協議事項として以下を確認済み。

事項	現時点での概ねの方針 (今後協議、調整で変更の可能性あり)	備考
基金配分比率	未決分の配分の決定。	
具体的施策	第1回基金出捐により実施する具体的な施策の内容を今後協議。	
基金口座	地域振興策分は原則、各自治体口座にて管理する予定。漁業振興策分は今後協議、調整。	
基金出捐ルール	SPCからの基金出捐は施策ごとに実施。	
実績報告	「協議会意見とりまとめ」にて求められる基金の公平性・公正性・透明性の確保のため、基金口座所有者より法定協で年1回実績報告を行う。	法定協での報告に向け、口座所有者にて適切に基金管理を行う。

既に実施した取組事例 ①



地域イベントへの参加を通じて、地元関係者及び関係漁協者との共生活動を実施

男鹿日本海花火への参加



協賛及び、花火大会当日にはボランティアスタッフとして参加

天王グリーンランドまつりへの参加



協賛及び、まつり当日にはかざぐるま作成ブースの出展、潟上市の鮮魚のPR活動の実施

サイエンスフェスティバルIへの出展



子供向け科学イベントにて電気教室、折り紙でのかざぐるま作り、風車の塗り絵コーナーを出展

既に実施した取組事例 ②



地域イベント、会合への参加を通じて、洋上風力発電の理解促進活動を実施

GLOBAL OFFSHORE WIND SUMMIT



洋上風力が担う役割と必要な支援策、漁業と洋上風力の共生に向けた課題と展望などについて講演

再エネを活用した産業・観光セミナー



洋上風力発電を中心とした再エネ事業の進展が地域経済に与える影響や、地域共生の重要性について講演

秋田市議会北部議員団と自治会連合会等との意見交換会



秋田市議会議員、自治会連合会の皆様と洋上風力発電に関する意見交換を実施

既に実施した取組事例 ③



教育機関との連携により、次世代エネルギー産業人材育成及び地域教育の多様化を支援

洋上風力発電や再エネに関する出前講座



潟上市立大豊小学校にて洋上風力発電や再エネに関する出前講座を実施

将来のキャリア形成に向けた出前講座



秋田中央高校及び国際教養大学において将来の職業選択に係る出前講座を実施

インターンシップの受入れ



国際教養大学生をインターンシップ生として受け入れ、地域と洋上風力の共存に関して共同検討

既に実施した取組事例 ④



協力企業の県内ネットワークを通じ、共生施策を実現

こども店長×SDGs (地域との取り組み)



地域の子どもたちに実際の店舗で職業体験を行う「こども店長」の取組を実施。

献血活動



秋田県赤十字血液センターと協業し、気軽に立ち寄れるコンビニ特性を活かして、地域の皆様に献血協力を依頼。

潟上市と連携協定締結、 置き売り販売



潟上市とファミリーマートが包括連携協定を締結し、潟上市役所内へ置き売り販売コーナーを設置。特産品を活用した商品開発にも取り組む。

既に実施した取組事例 ⑤



首都圏における秋田県産品の知名度向上、販売促進活動の実施

伊藤忠商事本社社員食堂で 秋田フェアの開催



伊藤忠商事本社社員食堂にて、秋田県産品を使用したメニューを提供。また、オンライン販売による販売促進活動を実施。

JERA本社における 秋田セミナーの開催



JERA本社にて、秋田県および県産品の理解促進活動を実施。

JERA本社に地場産品自販機 の設置



JERA本社にて、秋田県産品を含む「地場産品自動販売機」を設置し、販売促進活動を実施。

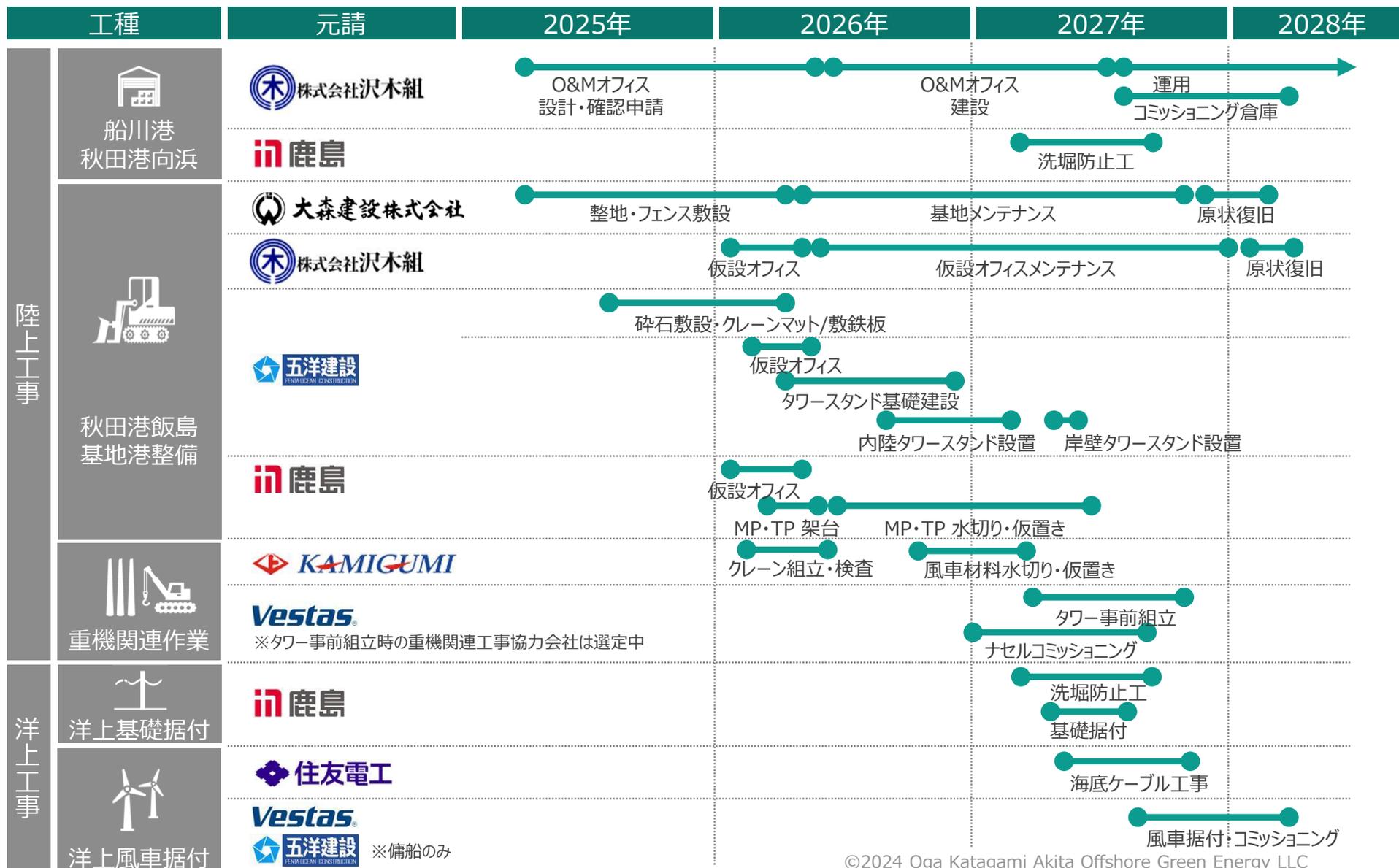
工事実施状況、スケジュール



洋上設備関連工事 - スケジュール



- 下記スケジュールにて洋上設備関連工事を遂行中



地元企業選定実績（洋上設備関連工事）



以下記載の施工体制に基づき、各洋上設備関連工事の委託先を選定済みもしくは選定中

秋田県内企業（支店、営業所を含む）

秋田県外企業

発注者：男鹿・潟上・秋田Offshore Green Energy 合同会社

基地港整備・保守運用元請



仮設オフィス建設・保守運用元請



基礎関連工事元請



仮設事務所

カナモト(一次)

仮設工

広洋産業(一次)

MP砕石マウンド

鹿島道路(一次)

TPコンクリート架台

広洋産業(一次)

測量

山中建築測量(一次)

地盤調査

ジ オックコンサルタツ(一次)

敷き鉄板賃貸

アクティオ

基地港整備元請・備船



風車タワースタンド工事

大森建設(一次) 予定

杉貞石材(一次) 予定

砕石敷

靱山工業(一次)

杉貞石材(二次)

秋田瀝青建設(二次)

豊島建設(二次)

高橋産業(二次)

クレーンマット・鉄板敷き

靱山工業(一次)

杉貞石材(二次)

堀川(二次)



イメージ写真



整地・砕石敷工事（2026年2月19日の現場進捗状況）



仮設オフィス工事（2026年2月19日の現場進捗状況）



クレーンマット敷設工事（2026年2月19日の現場進捗状況）

洋上設備関連工事 - 2026年の主要トピック



- 2026年の洋上設備関連主要工事の工程は下記の通り（予定）

陸上での工事

- | | |
|--------------------------|------------|
| • 大型クレーンの組み立て | 2026年2月～5月 |
| • タワースタンドの建設 | 2026年4月～ |
| • MP/TPマウンド（仮置き場）の整備 | 2026年4月～8月 |
| • 基礎部材（MP/TP）の搬入 | 2026年9月～ |
| • 風車部材（Tower/Nacelle）の搬入 | 2026年10月～ |

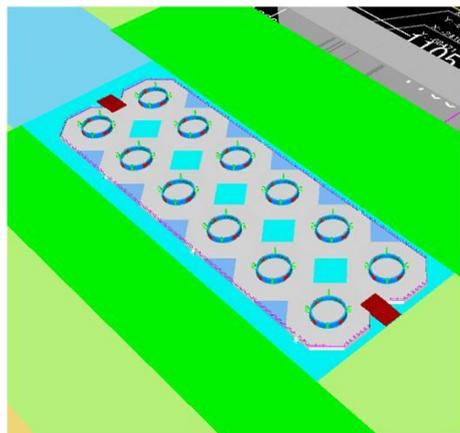
洋上での準備工事

- | | |
|---------------|------------|
| • 海中障害物の調査と撤去 | 2026年5月～7月 |
| • 定置網の一時撤去 | 2026年8月～9月 |

工事のイメージ写真・図



2500tクレーン* 1



タワースタンド* 2



MP架台* 3

出典：

- * 1 DENZAIホームページ (<https://www.denzai.group/news/1039/>)
- * 2 五洋建設が設計したタワースタンドの3Dモデルより
- * 3 JFEエンジニアリングホームページ (<https://www.jfe-eng.co.jp/news/2025/20251226.html>)

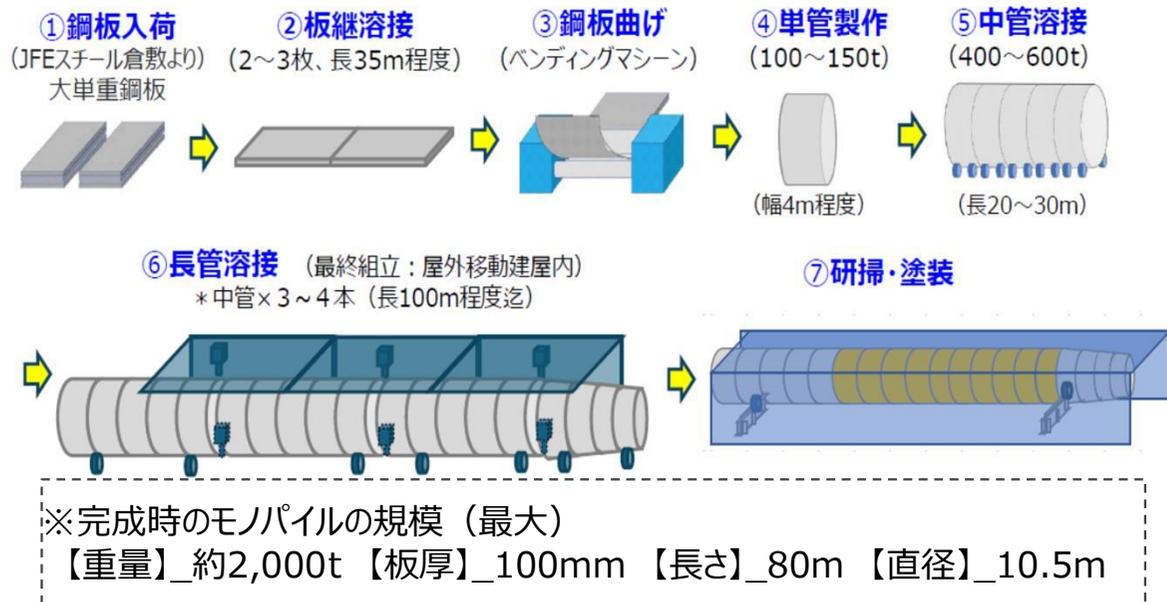
モノパイル製造開始-2026年の主要トピック

1. 笠岡モノパイル製作所

(岡山県笠岡市 JFEスチール西日本製鉄所構内)

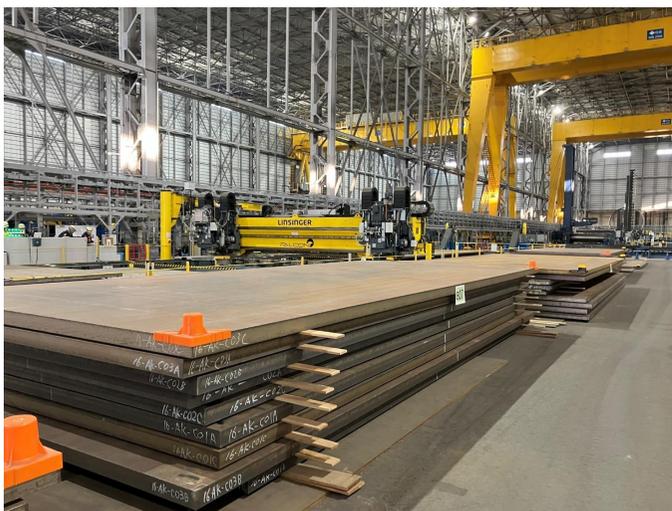


2. モノパイル 製造フロー



3. 製造状況 (2026年2月時点)

鋼板入荷



単管製作



中管溶接



洋上設備関連工事 - 実施状況 (2026年1月時点)

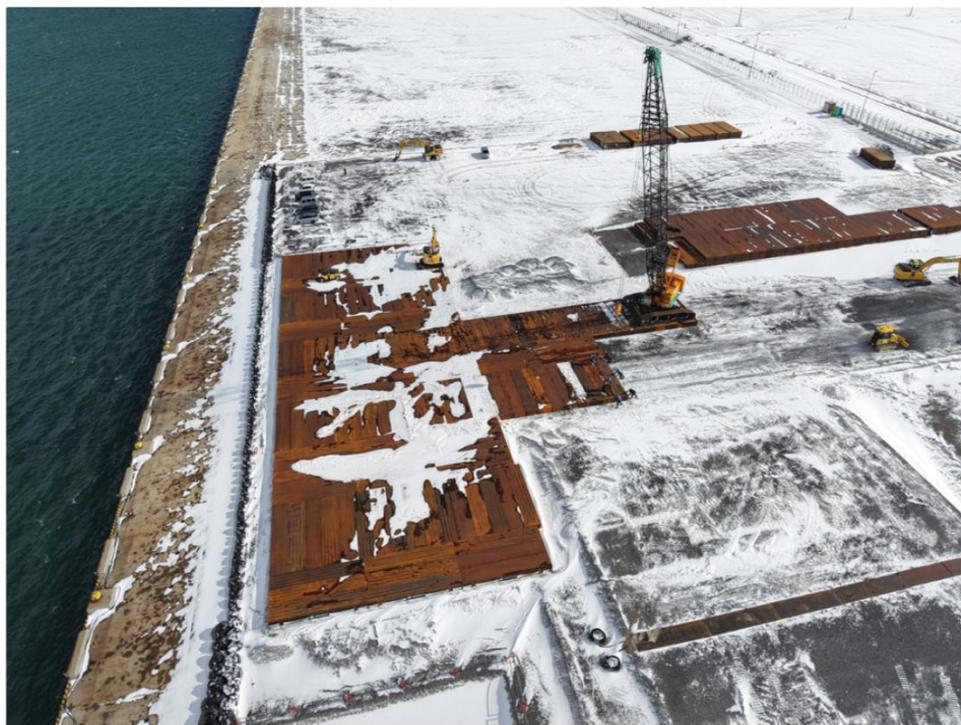


男鹿・瀬上・秋田
Offshore Green Energy 合同会社



施工事例：

- 整地完了、砕石敷き継続中
- SOLASフェンス位置変更（第一段階）完了、境界フェンス及び照明据付継続中
- 仮設水・電気工事継続中
- クレーンマット・鉄板敷設継続中
- 仮設オフィス建設工事継続中



洋上設備関連工事 - 実施状況 (2026年1月時点)



男鹿・瀬上・秋田
Offshore Green Energy 合同会社



施工事例：クレーンマット敷設、砕石敷、仮設オフィス・倉庫建設

クレーンマット水切り



クレーンマット運搬



クレーンマット敷設



砕石敷



事業者仮設オフィス建設



バスタス倉庫建設



陸上送変電設備工事 - スケジュール



- 下記スケジュールにて陸上送変電工事を遂行中

工種	工事請負業者	2025年	2026年	2027年
送電工事	 大森グループ  伸雅工業株式会社 SHINGA KOUGYOU	仮設工事・リース		
	 大森グループ ヤマリ・誠幸建設・ストリート	開削管路		
	 大森グループ ヤマリ・渡部建設	マンホール設置		
	 大森グループ 秋田グリーンサービス・大雄建設	伐採・林道造成		
	 株式会社 丸三大信電気 セリック	ケーブル敷設		
	 大森グループ ジエコス東北支店	立坑設置撤去		
		警備業務		
変電工事	 SANGI General Construction	土木造成伐採		
	 大森建設株式会社 選定中	配筋・基礎打設		
		建物施工		
		CVVケーブル接続		
		警備業務		

地元企業選定実績（陸上送変電設備工事）



以下記載の施工体制に基づき、各陸上設備関連工事の委託先を選定済

- 秋田県内企業（支店、営業所含む）
- 秋田県外企業

📷 施工写真

陸上送変電設備工事

発注者：男鹿・潟上・秋田Offshore Green Energy 合同会社

元請企業：東光電気工事

送電工事

開削管路

大森建設・伊藤羽州建設
ヤマリ・誠幸建設・ストリート等

林道造成

大森建設・伊藤羽州建設
大雄建設

立坑設置撤去

大森建設・伊藤羽州建設
ジェコス東北支店

伐採

大森建設・伊藤羽州建設
秋田グリーンサービス

マンホール設置

大森建設・伊藤羽州建設
ヤマリ・渡部建設等

ケーブル敷設

丸三大信電気
セリック

警備業務

大森建設・伊藤羽州建設
アルソック

仮設工事、リース

大森建設・伊藤羽州建設
伸雅工業

変電工事

土木造成伐採

三義・大森建設

配筋・基礎打設

三義・大森建設

建物施工

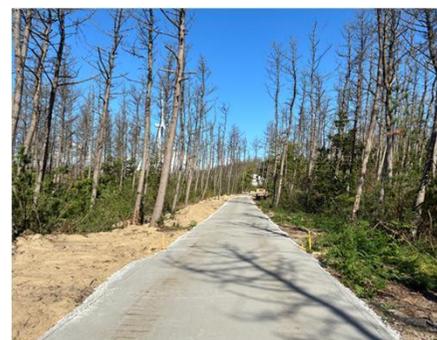
三義・大森建設

CVVケーブル接続

2026.1時点 選定中

警備業務

ALSOK



陸上送変電設備関連工事 - 2026年の主要トピック



- 2026年の送変電設備関連主要工事の工程は下記の通り（予定）

送電工事

- 揚陸点工事 2026年4月～
- マンホール埋設工事 2026年4月～8月
- ケーブル管路埋設工事 2026年4月～8月
- 推進工事 2026年4月～7月

変電工事

- 変電所・開閉所基礎・建屋工事 2026年4月～6月
- 変電機器組立・据付工事 2026年7月～

工事のイメージ写真・図



マンホール埋設工事



推進工事



変電所基礎工事



開閉所基礎工事

陸上送変電工事 全体概要



陸上送変電工事 - 実施状況 (2026年1月時点)



施工事例：①秋田天王線（歩道）と②市道へのケーブル管路,マンホール埋設工事

①-1 秋田天王線 着工前



①-2 ケーブル管路埋設



①-3秋田天王線 埋設工事完了



②-1 市道 着工前



②-2 マンホール埋設



②-3 市道 埋設工事完了



陸上送変電工事 - 実施状況 (2026年1月時点)



施工事例：①下新城青崎 (開閉所工事) と ②秋田火力発電所 (変電所工事)

①-1 下新城青崎
着工直後



①-2 下新城青崎
用水路新設工事



①-3 下新城青崎
杭打設工事



②-1 秋田火力発電所
着工直後



②-2 秋田火力発電所
コンクリート基礎撤去工事



②-3 秋田火力発電所
杭打設工事



漁業影響調査実施状況



漁業影響調査実施状況



- 2024年12月に「漁業影響調査検討委員会」にて計画の承認を取得、2025年4月から調査開始済み。
- 2025年度の調査結果について、2026年夏に漁業影響調査検討委員会にて報告予定。
- 工事中の調査については、安全を確保しつつ最大限実施すべく、今後関係者と調整予定。

調査項目		工事前2年 2025-2026年度	工事中1年 2027年度	稼働後3年 2028-2030年度
操業影響調査	操業情報調査	→	→	→
	聞き取り調査	→	→	→
生物影響調査	漁獲調査※1	→	→	→
	底生生物調査	→	→	→
	胃内要物調査	→	→	→
	産卵調査	→	→	→
	稚魚調査	→	→	→
	付着性生物調査	→	→	→
環境影響調査	プランクトン調査	→	→	→
	水質・流況	→	→	→
	水中音	→	→	→
	底質・地形	→	→	→
	その他（振動や影による影響を聞き取り調査）	→	→	→

※1 対象魚種は、ハタハタ、カレイ・ヒラメ、サケ・サクラマス、マダイ、トラフグ、その他魚類

漁業影響調査実施状況



- 現状、漁業者の皆様との協働、水産振興センターの皆様とのご相談の上、順調に調査を継続中。

調査実施例
底生調査



調査実施例
水中音調査



調査実施例
漁獲調査



調査実施例
稚魚調査



協議会意見とりまとめにおける留意事項への対応状況・方針 (全体理念、風車等配置、共生策、漁業影響調査以外)



3.留意事項 (4) 洋上風力発電設備等の建設

協議会意見とりまとめ

- 選定事業者は、本海域における事前の調査、洋上風力発電設備等の建設及び安全対策に当たっては、十分な時間的余裕をもって関係漁業者、船舶運航事業者、海上保安部、各施設の管理者及び地元自治体への丁寧な説明・協議を行うこと
 - また、周辺住民に対して、工事内容やスケジュールの周知を行うこと
-
- 特に、洋上風力発電設備の基礎に係る海洋工事の施工（モノパイルの打設工事等）に当たっては、関係漁業者に丁寧な説明・協議を行い、工事の作業内容や時期、作業船の航行等と漁業の操業等について適切に調整すること
 - 大きな騒音を伴う工事については、早朝や夜間の作業は避ける等、周辺住民の生活に十分配慮すること
-
- 選定事業者は、洋上風力発電設備等の事故等により既存海洋構造物へ被害が及ばないよう、必要な措置をとること

留意事項への対応方針・状況

十分な時間的余裕を持った工事内容やスケジュールの周知

- 工事などの本工事に係る情報発信や相談窓口として「許認可・地域調整」、地域共生策の積極的な開発・推進を担う組織として「地域振興推進」を設置し、体制を構築する
- 関係漁業者及び地域住民等への十分な説明・協議時間を確保したうえで、原則対面による事細かな工事内容やスケジュールの周知を行う

基礎工事における地域住民及び関係漁業者への配慮

- 基礎工事前には複数の事前周知等、より頻度を上げた事細やかなコミュニケーションを行う。更には、自治会長や、配慮が必要と考える学校や病院にも個別説明を行い、地域関係者との信頼関係を構築したうえで事業を推進する
- 県内港湾洋上案件において発生した打設音に対する問合せの背景・課題を独自分析し、その結果を踏まえ適切な周知対象の設定と事前周知を徹底する

洋上風力発電設備等の事故等による 既存海洋構造物への被害防止、及び安全措置

- 工事における地震・落雷・台風等への安全性の確保のため、労働安全衛生法の規定及び船舶に応じた作業限界条件・作業中止基準を定め、気象状況を的確に把握し、危険の虞があるときは作業中止などの必要な措置を実行する

3.留意事項 (5) 発電事業の実施

協議会意見とりまとめ

- 選定事業者は、洋上風力発電設備等に係るメンテナンスの実施に当たり、十分な時間的余裕を持って関係漁業者、船舶運航事業者、海上保安部、各施設の管理者及び地元自治体への丁寧な説明・協議を行うこと
- 選定事業者は、漁船を含めた船舶の安全の確保のため、洋上風力発電設備等の周辺における船舶の運航ルールについて、関係漁業者、船舶運航事業者、海上保安部、各施設の管理者及び地元自治体への丁寧な説明・協議を行うこと
- また、船舶の航行の安全を確保するための必要な支援を行うこと
- 選定事業者は、洋上風力発電設備等によって電波受信障害など地域住民の生活に影響が生じた場合の相談窓口として、あらかじめ対応窓口を明確化し、十分な周知を行うこと
- また、影響が生じた場合においては、その内容について迅速に周知を行い、改善に向けた対応をとること

留意事項への対応方針・状況

メンテナンス実施に当たっての丁寧な説明・協議

- 対応の専門部署である許認可・地域調整部署を設置済
今後も丁寧な説明・協議を行う。地域関係者への説明・協議においては、十分な時間を確保したうえで、信頼関係を構築する

船舶の航行安全についての丁寧な説明・協議

- 対応の専門部署である許認可・地域調整部署を設置済
今後も丁寧な説明・協議を行う
- 航行安全委員会を開催し、航行安全上の重要な問題がないことを確認済
- 船舶航行の安全対策として、視認性を高める塗装の採用・灯火の設置・標識版等の風車側の対応と、漁船へのビデオプロッタ搭載・スマートフォンによる衝突防止支援等の漁船側の支援を実施する

地域住民の生活影響の相談窓口設置及び対応

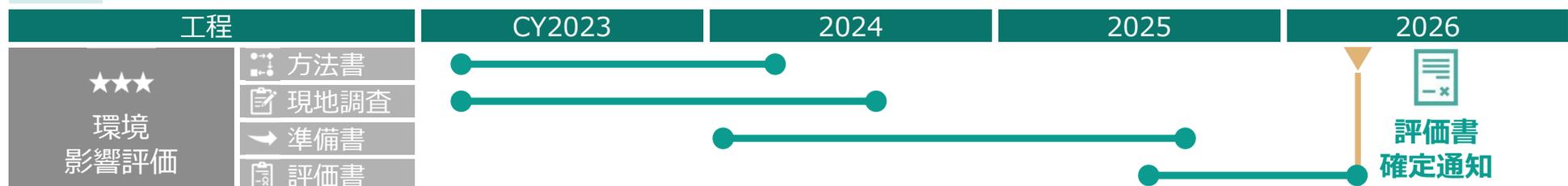
- 対応の専門部署である許認可・地域調整部署を設置済
対応窓口を一本化して対応する
- 地域関係者に何らかの影響が生じた場合は、①ホームページ、②リーフレット、③個別説明を通じて、その内容や事象に応じて適切な方法で周知する

3.留意事項 (6) 環境配慮事項

協議会意見とりまとめ

- 選定事業者は、環境影響評価法その他関係法令に基づき、発電事業に係る環境影響評価を適切に行うとともに、地域住民に対し丁寧に説明すること
 - また、同法に基づく経済産業大臣の意見・勧告及び知事等の意見を踏まえ、必要な対策を講ずること
-
- 選定事業者は、洋上風力発電設備等の配置・規模・構造等の検討に当たり、騒音、超低周波音、風車の影、鳥類、海生生物、景観等について適切に環境影響評価を行うとともに、結果を踏まえ、これらへの影響を回避・低減できるよう配慮すること
-
- 選定事業者は、環境影響評価における予測・評価には不確実性が伴うことから、工事中及び供用後は、必要に応じて環境監視や事後調査（騒音、超低周波音、鳥類、海生生物等）を実施し、重大な環境影響が懸念される場合は、追加的な環境保全措置を講ずること

参考 環境影響評価の今後の工程について



留意事項への対応方針・状況

環境影響評価手続について

- 環境影響評価については、2025年9月に準備書手続を完了し、評価書手続を関係行政機関と協議し、進めている
- 環境影響評価法に基づく住民説明会を開催し、地域住民の皆さまに環境影響評価の結果をできる限り丁寧に説明した
- また、準備書手続において受領した経済産業大臣の意見・勧告及び知事等の意見を踏まえ、必要な環境保全措置を検討し、評価書手続を進めている

環境影響への配慮及び環境監視や事後調査について

- 騒音、超低周波音、風車の影、鳥類、海生生物、景観等について環境影響評価項目に選定して、適切に環境影響評価を行い、2025年9月に準備書手続を完了した
- また、環境評価評価結果を踏まえ、必要な環境保全措置を検討して評価書手続を進めることにより、本事業による環境影響を実行可能な範囲で回避又は低減できるよう努める
- 工事中及び供用後における環境監視や事後調査計画を実施するとともに、本事業の実施により重大な環境影響が確認された場合及び環境保全上特に配慮を要する事項が判明した場合は、専門家のご意見を踏まえ、追加的な環境保全措置を講じる



男鹿・潟上・秋田
Offshore Green Energy 合同会社

以上
ご清聴ありがとうございました

